

2008年度（2008年4月～2009年3月） スタンプ・ポイント実績調査結果

< 回答27団体 >

< 決算月は会により異なりますが本調査では、2008年4月から2009年3月の実績としました >

1. 発行回収状況

発行額増は5団体19%、減少は15団体58%

回収額増は12団体46%、減少は8団体31%

【発行】

08年度の前年同期比4%以上増加は5団体19%（07年度は7%）、4%以上減少は16団体62%（07年度は69%）で、前年度比減少の団体が増加の団体を大きく（43ポイント）上回った。

発行額全体では前年同期比6%減（07年度は9%減）

協組新潟市商店連合会の44%増は、08年4月にポイントカード機器をリニューアル、カード会員獲得キャンペーンに努めたことなどによる。

協組多賀城・七ヶ浜スタンプ会の23%増は、07年秋に七ヶ浜町のスタンプ会加盟店の多くが同スタンプ会解散に伴い、協組多賀城スタンプ会に加盟したことなどによる。

【回収】

08年度の前年度比4%以上増加は12団体44%（07年度は7%）、4%以上減少は9団体34%（07年度は86%）で、回収額増加団体は、減少団体を10ポイントほど上回った。

回収額全体では前年同期比2%減（07年度は15%減）

協組新潟市商店連合会の183%増は、発行額増に伴うもの。

墨田区商連の39%増は、従来のスタンプが今年9月末で有効期限が切れることを昨年から告知してきたことが主因。

協組多賀城・七ヶ浜スタンプ会の33%増は、発行額増加に伴うもの。

土手町振連の33%減は、一昨年秋にポイントの消費者還元率を変更した際、回収が急増したことへの反動が主因。

2. 2008年度に実施した主な事業

システムの変更

(1)ポイントカードシステムの更新

- ・協組新潟市商店連合会 08年4月から

ポイントカードの端末とカードを変更。カードの名称も「チューリップカード」から「トキメキカード」に。

事務局にホストコンピューターを設置、オンラインで加盟店の端末とつなげる仕組みは同じで主な変更点は、(1)加盟店の端末操作を簡単にした、(2)カードは、使い捨ての印字式とした(従来は破損しない限り継続的に使えるが、レシートを保存しておかないと消費者は残ポイントを確認できなかった)(3)有効期限を発行日から4年とした(従来は無期限)(4)加盟店の負担を保守料や将来の機器更新用積み立てなど月2,000円とした(従来は保守料のみの月500円)など。

- ・山中スタンプ会 09年2月から

(詳細は本報告書1～3月実績に)

* 09年度のポイントカードシステム変更

- ・オホーツクカード事業協組 6月から

ポイント進呈単位 200円(従来は100円)

加盟店負担 200円に3.5円(100円に2円)

本部収入 1ポイント3.5円のうち0.917円

支部収入 1ポイント3.5円のうち1.583円

- ・8月から 松葉町商店会協組

端末の老朽化、部品生産中止・修理困難のため。

ポイント進呈単位 105円(従来は210円)

交換単位 300ポイント300円(300ポイント500円)

加盟店負担 105円に1.8円(210円に2.7円)

(2)スタンプシールからポイントカードに 草津スタンプ会

(詳細は本報告書1～3月実績に)

(3)スタンプシールの変更

- ・わくわくスタンプ会 08年4月から新スタンプを発行
従来のスタンプは08年8月末で無効とした。

- ・有効期限つきへ すみだスタンプ

従来のスタンプ(グリーン)は09年9月30日で有効期限切れとし、08年からピ
ンクの新スタンプを発行(旧スタンプ09年9月末まで有効)、10年度からカード化
の予定(新スタンプは11年9月末まで有効)

組織強化

- ・加盟促進用パンフ作成 協組神辺わかば会
会の事業内容などを説明したパンフを作成、未加盟の事業所に配付した。